

■ コメント

1. 感染性胃腸炎

定点当り16.1人とほぼ横ばいとなっており、依然として多い状態が続いています。安芸区49.0人、東区22.7人と特に多く、他の区でも多くなっています。

感染性胃腸炎の集団発生は、第10週も4件（うち3件がノロウイルスによる）と依然として発生しており注意が必要です（3月9日現在）。

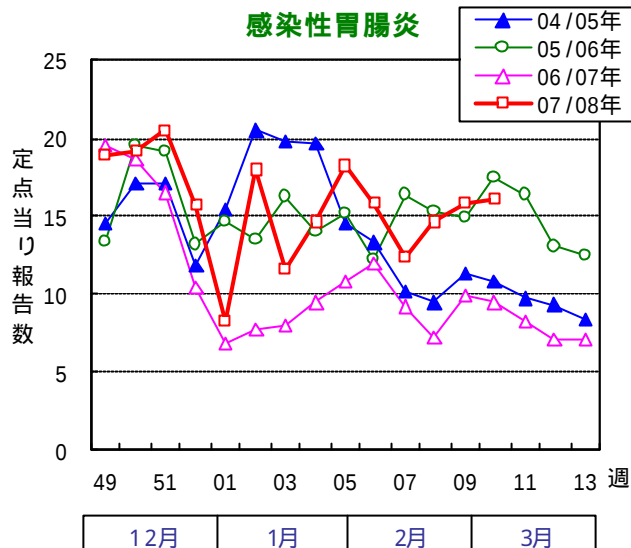
2. インフルエンザ

定点当り7.78人とやや減少しています。1月の下旬から横ばいまたはやや減少傾向で推移していますが、少なくとも春休みまでは流行が続くと考えられます。安芸区20.3人、東区14.8人と注意報レベル（定点当り10.0人）を超えています。

3. 後天性免疫不全症候群

今年はじめての報告がありました。（1人）

感染性胃腸炎



■ 5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号
インフルエンザ(注2)	288	7.78	14.76	◇	ヘルパンギーナ	2	0.08	0.08	
咽頭結膜熱	5	0.21	0.24		流行性耳下腺炎	2	0.08	1.23	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	54	2.25	1.49	→	RSウイルス感染症	-	-	0.08	
感染性胃腸炎	386	16.08	13.58	→	急性出血性結膜炎	-	-	0.08	
水痘	44	1.83	1.85	◇	流行性角結膜炎	11	1.38	0.65	
手足口病	13	0.54	0.08		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	3	0.13	0.21		無菌性髄膜炎	-	-	0.11	
突発性発しん	14	0.58	0.65		マイコプラズマ肺炎	6	0.86	0.14	
百日咳	8	0.33	0.01		クラミジア肺炎(注3)	-	-	-	

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1.2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1.1.5～2の増減

微増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1.1.1～1.5の増減

横ばい ⇨ ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1)過去5年間(RSウイルス感染症は4年間)の同時期平均(定点当り)
(注2)鳥インフルエンザを除く
(注3)オウム病を除く

■ 1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	1	34	男性(70歳代)・1人
5	後天性免疫不全症候群	1	1	男性(20歳代)・推定感染地域:国外
5	風しん	1	3	男性(30歳代)
5	麻疹	2	5	女性(10歳未満)・女性(20歳代)

■ 5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

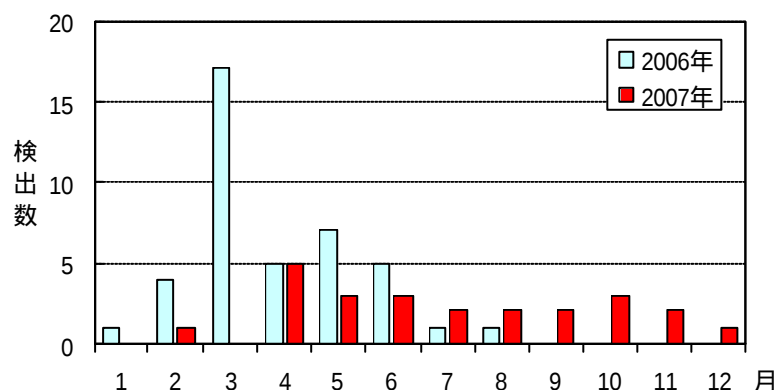
			インフルエンザ (注1)		A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎		感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注2)
報告 数	広島市	第6週	413	13	38	380	40	18	2	15	1	-	3	8	1	8	-	-	6	-	
		第7週	269	5	36	298	31	14	-	12	-	-	5	3	-	6	-	-	2	-	
		第8週	348	8	64	351	25	8	1	15	-	1	2	8	-	6	-	1	1	-	
		第9週	326	6	50	381	31	12	5	19	2	-	3	8	1	2	-	-	-	-	
		第10週	288	5	54	386	44	13	3	14	8	2	2	-	-	11	-	-	6	-	
定点 当り	広島市	第6週	11.16	0.54	1.58	15.83	1.67	0.75	0.08	0.63	0.04	-	0.13	0.33	0.13	1.00	-	-	0.86	-	
		第7週	7.27	0.21	1.50	12.42	1.29	0.58	-	0.50	-	-	0.21	0.13	-	0.75	-	-	0.29	-	
		第8週	9.41	0.33	2.67	14.63	1.04	0.33	0.04	0.63	-	0.04	0.08	0.33	-	0.75	-	0.14	0.14	-	
		第9週	8.81	0.25	2.08	15.88	1.29	0.50	0.21	0.79	0.08	-	0.13	0.33	0.13	0.25	-	-	-	-	
		第10週	7.78	0.21	2.25	16.08	1.83	0.54	0.13	0.58	0.33	0.08	0.08	-	-	1.38	-	-	0.86	-	
	全国	第8週	8.77	0.25	2.34	10.16	1.71	0.15	0.13	0.56	0.02	0.03	0.28	0.25	0.03	0.77	0.01	0.02	0.41	0.01	
		第9週	7.19	0.24	2.48	11.12	1.61	0.14	0.13	0.55	0.03	0.03	0.27	0.24	0.02	0.70	0.02	0.02	0.42	0.03	

(注1)鳥インフルエンザを除く (注2)オウム病を除く

■ 新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ 無菌性髄膜炎	6	男	2008/02/02	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	6	男	2008/02/05	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	1	男	2008/02/05	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	10	男	2008/02/07	鼻汁(拭い液)	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	32	女	2008/02/07	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	不明	男	2008/02/08	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	41	男	2008/02/18	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	37	男	2008/02/19	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
感染性胃腸炎、痙攣	0	男	2008/02/03	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎、痙攣	2	女	2008/02/03	糞便	ノロウイルスG2群
胃腸炎 肝機能障害	0	女	2008/01/17	糞便	ノロウイルスG2群
不明熱	0	男	2008/01/18	糞便	パレコウイルス1型
腸重積	0	男	2007/12/26	糞便	アデノウイルス5型
腸重積症	3	男	2007/12/09	糞便	アデノウイルス7型

【参考】広島市におけるヒトメタニューモウイルスの月別検出状況



ヒトメタニューモウイルス (Human Metapneumovirus : HMPV) は、2001年にオランダで急性呼吸器感染症の原因ウイルスとして発見されました。

広島市衛生研究所では、2006年に HMPV の遺伝子検査方法を確立し、広島市域における流行状況の把握に努めています。

月別検出数をみると、2006年は3月をピークとして、1月から8月まで検出されましたが、2007年は、ほぼ通年検出されており季節的特徴は見られませんでした。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2008年第10週 (3月3日～3月9日)